

ILA Berlin 2022

ベルリン国際航空宇宙ショー

会場：Berlin ExpoCenter Airpot（ベルリン・ブランデンブルク国際空港に隣接）

主催：BDLI（ドイツ航空宇宙産業連盟）/Messe Berlin GmbH（メッセ・ベルリン社）

運営：Messe Berlin GmbH（メッセ・ベルリン社）

会期：2022年6月22日（水）から 25日（土）→ 26日（日）まで10時 - 18時

パブリック・デーを従来通りの週末2日間に変更、26日（日）まで開催！

Messe Berlin

ILA BERLIN
INNOVATION AND
LEADERSHIP IN AEROSPACE

ILA Innovation and Leadership in Aerospace

www.ila-berlin.com

ILA Berlin/ベルリン国際航空宇宙ショーは、航空宇宙産業、防衛、サプライヤーセクションを網羅する、世界屈指の航空宇宙展示会です。技術のバイオニアが一堂に会し、グローバル連携の確立や未来を形づくるテーマを展開します。

コロナ禍の2020年のオンライン開催を経て、2022年のILAは、イノベーション、テクノロジー、サステナビリティにフォーカスし、昨年開港したベルリン・ブランデンブルク国際空港に隣接する展示会場にて再びリアル開催されます。現地会場での展示会と、オンライン・マッチメイキング、プレゼンテーション、ライブ配信プログラムを含むオンライン・プラットフォーム „ILA extended“ を併せたハイブリッド形式での開催となります。

前回のILA2018では、41カ国から約1,100社の出展者が最新製品やR&Dプロジェクトの成果を展示しました。約18万人が来場し、約200の航空機展示とデモフライトが行われました。

航空宇宙産業の専門家が集結し、技術力を産業界にアピールする最高のステージであるILAを、御社のグローバル展開に是非ご活用ください。

統計データ（2018年実績）

総展示面積	250,000㎡
出展企業	約1,100社（41カ国）
展示航空機数	約200機
総ビジター数	約180,000人
参加メディア数	2,500
開催間隔	隔年

AVIATION

ゼロ・エミッションの未来を目指して

サステナビリティと安全性を強化した最新の航空機を体験し、エンジニアや研究者による最新の研究成果に触れる機会をご提供します。航空業界のトップ企業・団体を対象とした、ドイツ航空宇宙産業連盟（BDLI）主催の“Berlin Aviation Summit”も展開します。

SPACE

宇宙分野として独立したSpaceホールを展開

宇宙分野に特化したヨーロッパ最大となる“Space exhibition”を、4,500㎡のホールで展開します。世界各国の政治・エージェント・研究機関・宇宙産業の関係者が一堂に会し、ネットワーキングに最適の機会です。

欧州宇宙機関（ESA）、ドイツ経済技術省、ドイツ航空宇宙センター（DLR）、ドイツ航空宇宙産業連盟（BDLI）によるスペース・パビリオンや国際的な宇宙機関・組織・研究機関等もその技術を披露します。また、大規模会議やイベントプログラムも併催されます。

2018年は、DLRブース内に宇宙航空研究開発機構（JAXA）が出展し、はやぶさ2の実物大モデルを展示、そして日本航空宇宙工業会（SJAC）は、Japan Space Industry Workshopを開催しました。

Advanced Air Mobility 輸送の新時代を目指して

無人飛行システム（UAS）とドローン関連サービスの最新イノベーションを展開します。Advanced Air Mobility Stageでは、TOLエコシステム（Vehicle, Vertiports, Digital Backbone, Cyber等）、ドローンとエアタクシーの融合（UTM）、Counter-UAS等にフォーカスします。

ISC/International Suppliers Center

イノベーションのためのマーケットプレイス

3日間のトレードデーにわたって開催されるISCでは、2次以下のサプライヤーの皆様にも、ポテンシャルのあるビジネスパートナーとのネットワーキングの機会をご提供します。前回2018年は、20カ国以上から300を超える出展者が参加し、1000件超の事前アポイントメント制によるB2Bミーティングが行われました。ウェブツールを利用したミーティングも可能です。2018年には東京都も出展し、成果に高い評価が寄せられています。

Defence & Support

防衛関連の産業に特化

現代の防衛をとりまく産業は複雑で広範にわたります。Defence & Support セグメントでは、デジタル化、AR、Performance Based Logistics、民軍連携、Future Combat Air Systemなどをテーマに展開します。2018年には、日本から初めて防衛装備庁が出展しました。

STATIC DISPLAY -Demo Flights

実機展示の多さもILAの特徴です。2018年は、EmiratesのA380やA350, A340 BLADE, 同じくエアバスのBeluga, そしてBoeing747-8, Antonov225, 防衛関連でEurofighter, 軍用輸送機A400M, 軍用ヘリコプターのTiger, フランスのRafale, Lockheed MartinのF35, CH-53K, BoeingのCH-47 Chinook, そして日本から防衛装備庁のP1哨戒機が初披露されました。